

本 会 記 事

◎第3回通常総会開催

昭和37年5月25日(金)午後1時から、日本電機工業会講堂(東京都千代田区永田町)において第3回通常総会を開催、つぎの事項について審議が行なわれ、異議なく了承された。

総会成立の可否

出席者 73 委任状 279 合計 352 成立

◎昭和36年度 事業報告

1. 総 会

第2回通常総会

昭和36年5月26日、日本電機工業会講堂において第2回通常総会を開催し、つぎの事項について審議が行なわれ、異議なく了承された。

出席者 347名

議 事 昭和35年度事業報告、決算報告

昭和36年度事業計画および収支予算

なお、36年度役員は下記の通り決定した。

昭和36年度役員

会 長 山 下 英 男

副 会 長 山 内 恭 彦

常務理事 森口繁一、高橋秀俊、原科 茂、和田 弘

理 事 宇野利雄、茅野 健、喜安善市、河野忠義、後藤以紀、高崎 勲、南沢宣郎、清宮 博

監 事 斎藤 有

評 議 員 70名

註 森口理事は海外出張から帰国したので、11月再び常務理事に就任、清宮理事と交替した。

2. 理 事 会

昭和36年度の理事会は、第12回理事会を昭和36年4月に開き、以後毎月1回定期的に12回開催した。

3. 幹 事 会

昭和36年度の幹事会は、第11回幹事会を昭和36年4月に開き、以後毎月1回定期的に12回開催した。

昭和36年度幹事

甘田早苗、伊吹公夫、岩村聯、浦昭二、榎本肇、大野豊、高島堅助、高田勝、高田雅陽、高橋茂、

田中明、泥堂多稔、中島勝也、西野博二、西村真一郎、林智彦、間野浩太郎、元岡達、森 敬

4. 文献・ニュース 小委員会

編集幹事会のもとに、会誌の文献紹介とニュース欄を充実するために、文献・ニュース小委員会を設け、昭和37年3月22日にその第1回の会合を行った。必要に応じ、月1回程度に開く。

委 員

高橋 茂(主査)、石井康雄、石井善昭、伊吹公夫、大野 豊、清水留三郎、白井国雄、高島堅助、田中 明、田村康雄、中沢喜三郎、西野博二、西村恕彦、和田英一

5. 研究委員会

機械翻訳、ALGOL、COBOL、およびEDPSの各研究会が昭和36年3月から委員制になった。

また、プログラム懇談会も本学会の研究委員会として新しく発足した。

機械翻訳研究委員会 (15名)

ALGOL 研究委員会 (13名)

COBOL 研究委員会 (12名)

EDPS 研究委員会 (17名)

プログラム懇談会

願 問 (30名)

委 員 (30名)

6. ISO, IEC 国内委員会

通産省工業技術院の委嘱をうけ、ISO, IECの国内規格委員会が発足、初回は合同委員会として昭和37年1月29日に開かれた。その後同年3月まで3回開催。

ISO, IEC 国内委員会委員

山下英男、高橋秀俊、和田 弘、喜安善市、森口繁一、西條利彦、猪瀬 博、有働 亨、原科 茂、大和田武、霜永忠平、河野忠義、三原裕登、新田達也、岸上 勉、高崎勲、小林大祐、牧野雄一、高田昇平

7. IFIP および ICC への協力

IFIP 第3回 昭和36年10月26日

コペンハーゲン 山下会長

IFIP 総会および評議会

37年3月21日

ミュンヘン 森口常任理事

ICC

ICC

ICC

わが国表される

8. 学

昭和3

Vol.

Vol.

Vol.

会誌は

賛助会員

希望に備

る。

9. 月

9. 1

9. 2

10. 第

電機

参加

11. 評

11. 1

11. 2

12. 庶

学会

学会

- ICC 第1回総会 37年1月30日
パリー 山下会長
 - ICC シンポジウム 37年3月26日
ローマ 森口常任理事
 - ICC シンポジウム 昭和37年3月26日
" 長尾真(京大)
- わが国から62年ミューンヘン大会に5件の論文が発表される。

会員数 昭和37年3月31日現在
正会員 993名
賛助会員 38社(97口)

◎昭和36年度 決算報告

1. 昭和36年4月～昭和37年3月資金収支決算書

[単位円]

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
事務費	637,491	前期繰越金	729,379
会議費	295,955	入金	18,400
通信費	130,970	会費収入	785,000
研究会費	97,502	賛助会費	1,860,000
会誌出版費	1,518,847	利息収入	21,338
IFIP分担金	180,900	雑収入	110,065
海外出張費	54,000		
海外派遣費	—		
翌月繰越金	606,517		
	3,522,182		3,522,182

8. 学会誌の発行

昭和36年度内に下記6冊を出版した

- Vol. 2 No. 3 昭和36年 5月号
- No. 4 7月号
- No. 5 9月号
- Vol. 2 No. 6 昭和36年 11月号
- Vol. 3 No. 1 昭和37年 1月号
- No. 2 3月号

会誌はB-5版64頁とし、1,500部を印刷、正会員、賛助会員、関係学会などに配本し、今後の新入会員の希望に備えて400部のバックナンバーを取揃えている。

9. 月例講演会

- 9.1 昭和36年6月12日(月) 産経会館
ジュミレーション関係 3件
- 9.2 昭和36年6月26日(月) 産経会館
計算機制御関係 2件

10. 第2回大会

昭和36年11月16日(木)
17日(金)

学会誌(Vol. 2 No. 6 p. 360)参照

電機工業会館において開催

- 参加者 221名 招待講演 2件
- 発表論文 32件

11. 評議員会

- 11.1 第2回評議員会 於電機工業会館
昭和36年5月12日(金)
学会誌 Vol. 2 No. 3 p. 180)参照

出席者 19名 委任状 25名 計44名

- 11.2 第3回評議員会 於電機工業会館
昭和36年11月12日(金)

出席者 17名 委任状 30名 計47名

12. 庶務事項

学会事務所
学会職員

翌月繰越金 606,517

銀行預金内訳

内訳 現金 14,644 住友銀行 49,405
振替貯金 52,222 第一 " 409,427
銀行預金 539,651 三井 " 80,819

2. 昭和36年度予算実算対照表および昭和37年度予算

[単位円]

	昭和36年度		昭和37年度予算
	予算	実算	
収入の部			
入金収入	30,000	18,400	20,000
正会員収入	1,000,000	785,000	1,000,000
賛助会員会費収入	2,400,000	1,860,000	2,600,000
雑収入		110,065	
利息収入	75,000	21,338	330,000
繰越金	51,060	109,315	
	3,556,060	2,904,118	3,950,000
支出の部			
事務費	500,000	637,491	700,000
会議費	200,000	295,955	200,000
通信費	70,000	130,970	120,000
研究会費	500,000	97,502	360,000
IFIP分担金	180,000	180,900	180,000
海外出張費		108,000	100,000
海外派遣費	250,000	250,000	250,000
会誌出版費	1,800,000	1,518,847	1,840,000
予備費	56,060	1,363,174	40,126
前年度赤字補填分			159,874
	3,556,060	3,063,992	3,950,000

西村真敬

ース欄を設け、った。必

伊吹公島堅助専二、西

PSの各

員会とし

の国内昭和37年回開催。

行、森口貝科茂、新野予雄一、

山下会長

専任理事

3. 学会基本資産および財産目録

昭和36年度の繰越金は606,517であるが一方未払いのものが

36年度海外派遣積立金	250,000
" 海外出張費	54,000
" 未払出版物	
Vol. 2 No. 6	237,420
Vol. 3 No. 1	224,971

合 計 766,391

があるので36年度合計は159,874円となる。

37年度で処理する予定

この他財産として

基本財産	電話債券	150,000
海外派遣積立金	(35年度のもの)	250,000
家具什器	スチールロッカー スチールケース 机, 椅子, 各2, 学会印, ベル各1	52,472
棚卸資産	学会誌 500×6部 の3%として計上	18,000

会 告

◎ 研究委員会開催通知

ALGOL 研究会

日時 9月18日(火) 17:30~20:00

会場 日本電子工業振興協会 会議室

議題 APIC ディクストラの論文について, その他
小島 惇(早大)

EDPS 研究会(第1, 第2両分科会合同)

日時 8月15日(水) 10:00~17:00

会場 日本電子工業振興協会 会議室

議題 B-5000 の sorting 金光 良衛(富士通)
Tape sorting system 前田 英明(RR)

機械翻訳研究会

日時 9月17日(月) 14:00~

場所 日本電子工業振興協会

議題 英語動詞の和訳語の型 水谷静夫(国語研)

プログラム懇談会

日時 9月11日(火)

会場 日本科学技術研修所 17,45-2

議題 1. 東大の計算センターの紹介

清水留三郎(東大)

2. Bendix G-20 の紹介

丸山 満(伊藤忠)

第3回大会の論文募集

来る11月15日(木), 16日(金)の両日に日本電機工業会館(東京都千代田区永田町)で, 本会の第3回大会を開催する。詳細は改めて次号で発表するが, 論文の発表を希望する会員は, 9月15日までに論文の題目に300字程度の論文要旨を添えて学会に申込みたい。当日までに申込まれた論文をもとにして, プログラムを決定のうえ, 大会当日までに予稿集を刊行する予定であるが, そのための原稿は改めて提出をお願いする。